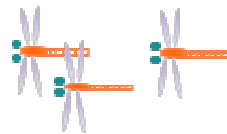


のうさんそん

9月1日号 農山村ネットだより

マムシ・ハチ・かぶれの木など

野外活動で危険なものを始めに確認しましょう



発行元
とよた都市農山村交流ネットワーク
代表 山本 薫久
豊田市桑田和町日面 71-1
tel・fax 0565-62-4011

子どもたちや都会で暮らす人は知りません

夏から秋、草におおわれているところへ突然、足や手をつっ込む、無防備に体を入れる。「それは危険だ」田畑や山仕事を経験している人はそう思うでしょう？マムシが潜んでいたり、ハチの巣があるかもしれないいつも意識しているからです。農家の方でもすでに身をもって「体験」された方もいらっしゃるのではありませんか???

でも、子どもたちや都会暮らしで自然と接する経験が浅い人は、まったく危険について意識していません。私たち農山村で暮らしたり自然と意識して接したりしている人の常識は全ての人の常識にはなっていません。体験実習の**最初に、きちんと、どんな危険があるかを知らせておくことが大切です。**

いざという時...対応はできますか

8月18日には農山村ネットワーク(略称)主催で、足助消防署にて「普通救命救急講習会」を開催しました。

万が一、体験実習参加者がぐったりと倒れ込んでいたら、あなたはどうしますか？すでに救命救急講習会を受講された方ならわかりだと思います。

意識の確認 意識なし 3つの対応 1、「119に電話してください」
2、「AEDを持ってきてください」3、「できるだけ沢山の人を呼んでください」
呼吸の確認 呼吸なし 人工呼吸(2回)+心臓マッサージ(30回)くりかえし
もういちど、しっかり復習しておきましょう。

まだ救命救急講習会を受講されていない方はぜひ受講してください。



9月4日(金)午前9時から12時まで、稲武のどんぐり工房で講習会が予定されています。
受講希望の方は稲武のどんぐり工房へ連絡してください。(0565-83-3838)

古瀬間小学校の校長先生、5年生担任の先生が「農家回り」

8月3日と18日、古瀬間小学校の近藤校長先生と5年生担任の香田先生、河村先生が、9月14日からのセカンドスクールのホームステイ先の農家や施設の下見とあいさつ、情報交換に回りました。農山村ネットワークから山本と安達が随行しました。18日には農政課の梅村さんも同行しました。

3日には下山地域会の新実さん下山支所の浦野さんが先導し下山地域7箇所、旭地域会の鈴木さんが先導し旭地域7箇所、6時間あまりのホームステイ先など回りとなりました。

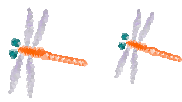
18日には小原地域会の田中さんが先導し小原地域5箇所、足助地域会の梶さんが先導し足助地域6箇所、稲武地域会の熊谷さんが先導し稲武地域6箇所、9時間あまりのホームステイ先など回りとなりました。

先生方は「豊田市の農山村はどこも美しい。交流事業でいろんなことを実践されていることもわかりました。農山村ネットワークのみなさんの案内がなければとても訪問できなかったの、ありがたいと思いました。」と感想をのべられました。



山本は豊田市の農山村の広大さと、そこでがんばる農家の方々の姿にあらためて感動しました。ありがとうございました。





足助地区

先進地見学会 足助地域会主催



5月24日と7月24日の2回、足助地域会主催で交流居住の試み先進地の見学会を開催しました。

足助地区野林町カウロゲでは平成10年から梶誠さんたち地元の方を中心に、長期にわたる定住希望者との交流、行政や専門家のバックアップ、町職員住宅完成を起爆剤に「高嶺下ファームビレッジ」構想を実現させていきました。山林の地形そのままに素敵な木造住宅がぼつぼつと六戸、森のなかに暮らしています。今では、地元小学校児童の二割がこの地域から通学するまでになっています。

足助地区新盛町菅田和では数年前には農地の10%でしか耕作されていませんでした。それが今では農地の60%まで耕作される勢いです。一番の力は地元の方々の奮起です。地元の松井さんは言います。「若いころは学校の仕事に没頭していて土日も外に出ていた。年を重ねるごとに、故郷の田畑や山を荒らしてしまったのは自分だなと反省してきた。でも、田畑をやっているとこれが面白いんだな。イノシシ対策でも知恵と情熱が湧き上がる。実に楽しい。」市も支援する「里山耕」事業も開始され、地元の方々の心意気が年々高まり、農山村の暮らしを学ぶ講習会や実習に都会から大勢の方が毎週のように訪れます。

両地域とも農山村再生、その教訓に満ちています。参加した市民、行政マンも目指すべき農山村や交流居住のあり方へ想いを語り合いました。



下山地区

香恋の館で「純米そうめん」流しが行われました！

豊田市羽布町にある「香恋の館」で、8月9日(日)に地元産のミネアサヒを主原料とした「純米そうめん」のそうめん流しが行われ、夏休みを迎えた多くの家族連れでにぎわいました。

会場では、竹を割って作った台を興味深そうに見たり、「おいしい、おいしい」と、夢中でそうめんを口いっぱいにはおぼる子供たちの姿が見られ、賑やかな雰囲気の中、みんなで夏の涼を楽しみました。こうした緑豊かな環境の中での、都市部の家庭ではできない経験を通じて、農山村の暮らしにも興味を持っていただけたらな、と期待しています。



また、「純米そうめん」は、下山地域の特産物である米の品種「ミネアサヒ」を使った商品で、地産地食の促進に繋がっています。みなさんも是非、一度お試しください！

9月20日(日)に山遊里で『秋の山里大収穫祭 in 香恋の里』を開催します！！

今年も手づくり工房山遊里にて、「秋の山里大収穫祭 in 香恋の里」が行われます。今回で10回目を迎え、内容も収穫体験、料理体験、各種ステージイベント、農産物販売、飲食ブースと盛りだくさん。

また、直径70～80cm約8kgのジャンボくるくるソーセージ(約150人分:写真)、新米ミネアサヒの卵かけごはん(200人分)も無料で食べられます！

是非、体で下山を味わいに来てね！！

<とき・ところ> 9月20日(日)10時00分～15時30分

豊田市羽布町柿田(手づくり工房山遊里周辺)

<問合せ> 手づくり工房 山遊里(0565-91-1186)



旭地区

おいしいジャムだね！！



8月8日(土)に太田町の「板取の家」で行った旭地域会主催の「ブルーベリージャム・炭火焼きパン作りの会」について紹介します。

初めての試みで、参加者があるのか、内容は良かったのか、とても心配しました。しかし、募集締め切りを待たずに、予定の15名を上回り途中で打ち切るほどでした。最終的には16名の参加者があり、9名のスタッフを加え、総勢25名の、私たちにとっては、大人数の会となりました。



当日は、パンの生地作りに始まり、ブルーベリージャム作り、器・箸など竹の食器作り。
参加した人たちは、出来具合を確かめながら、真剣に取り組んでいました。

できあがったパンにジャムを付けて味わい、最後は、流しそうめんを腹をふくらませました。みんなで挑戦した「花いちもんめ」は参加者の絆を更に強めたと思います。顔なじみの方の参加も多く、これまでのつながりがあって、この会ができたことを改めて実感する会でした。



稲武地区

稲武山里体験推進協議会と山里ちゃふえがコラボ！！

7月22日(水)夏休み親子チャレンジ体験「野外炊飯～命を知る・命に感謝～」

どんぐり工房(稲武山里体験推進協議会)開催の『夏休み親子チャレンジ体験』

その中の1プログラムとして「野外炊飯～命を知る・命に感謝～」を山里ちゃふえさんの協力にて開催しました。小学生の親子対象で5家族15人が参加しました。

事前に「にわとりを絞めます」と告知していましたが、皆さん覚悟して参加され、命をいただくことを実際に目にし、手で感じ、体で知る・・・貴重な体験が出来たのではないのでしょうか。



山里ちゃふえさんの計らいで、『うこっけい』『東天紅』『しゃも』など締めるにわたりの種類も様々で、各家族1羽ずつというとても贅沢な体験でした。首を切り、羽をむしり、さばく。羽をむしりながら「肌の色が違うね!!」、さばきながら「ここがクリスマスに食べる『モモ』だよね」「これが『ささみ』なんだね」と夢中で体験していました。さすがに子どもたちは途中で挫折して野菜の準備になりましたが、肉がミンチになってしまえば大丈夫!!・・・ということで作っていただきました。みんなでさばいたにわとりさんは、命に感謝してバーベキューにさせていただきました。

参加した皆さんが「大人になってこんな貴重な体験が出来るなんて思わなかった」「当たり前前に店で売っている肉が生きているにわとりだと実感できた」など、命を知るまたとない機会になったようです。

どんぐり工房9月の予定

5日(土)うどん作り / 12日(土)芋ようかん作り

20日(日)草木染め / 27日(日)野菜を使ったお菓子作り
などの他、各週土日と祝日は工芸体験も行なっています。

問合せ: どんぐり工房 0565-83-3838

<http://www.dongurikoubou.join-us.jp/> (ホームページでも今後の予定をご覧いただけます。)



小原地区

小原交流館講座 和紙で創る和みのあかり

～和紙と工芸のコラボレーション～を開催します！！

夜、家でくつろぐ時は和紙で透かしたおだやかな光が心身をリラックスさせてくれます。自分で漉いた和紙と成形した陶器とで世界に一つしかない灯りを創ることにより、手仕事の楽しみを経験し身近なものを見つめ直すという機会を持つことができます。それにより日常の物事に対する眼差しの変化と芸術的感性を養います。

と き 10月1日(木) 29日(木) 13:00～16:00
と ころ 和紙のふるさと 工芸館・展示館・休憩所
対 象 一般成人 定員 30名(定員になり次第締め切ります)
講 師 小原工芸和紙作家 田中真氏
陶芸作家 春日井鋼介氏
受講料 1,300円と材料費1,700円
申し込み受付開始 9月8日(火) 9:30～ (電話・窓口にて受付)
主催 豊田市生涯学習センター小原交流館
共催 小原地域グリーンツーリズム研究会、和紙のふるさと
問合せ 小原交流館 0565-65-3711



交流市民の会

やまさとに学ぶ 新しい生き方 ～山里学校～

6月28日「森の息吹を身にまとう 草木染め」(稲武地区、どんぐり工房)に10名の参加。村田牧子さんを講師に、山からフジとクズを採取して 草木染めをしました。味のあるオリジナルの作品に皆大満足！愛着がわきます。



7月18日～19日「おかあさんの果樹と畑へ行こう」も10名でした。場所は豊田市旭地区「いたどりの家」とその近辺。講師は伊藤美寿代さん。

18日(土)畑でブルーベリーを取りジャムづくり、そして、トマトケチャップづくり。夜はゆっくり懇談。

19日(日)竹のハシと器づくり、そして、流しひやむぎ。自分でつくるジャム、ケチャップは絶品です。新鮮はくだものでつくったものは、市販のものとはまるで味が違いました。農村のやすらぎと新鮮な食物、楽しい人の輪もありました。

次回は9月25,26,27日「農家の暮らしまるごとやってみる」

稲武の山里ちゃふえと農家さんと、朝早くから一日を通じて農家の作業をお手伝いします。

問合せ 安達090-9915-1187

yamasatogakko@toyotasannsonn.sakura.ne.jp



会員募集中！！

とよた都市農山村交流ネットワークでは会員を募集しています。

農林業体験希望者を受け入れてもいいかなあ。花木や昆虫の事なら何でも聞いて！

農業はダメだけど料理は自信があるわ。農家で泊めてあげるよ。

炭焼きならできるんだけど・・・ などなど、

体験の受入をしていただける方、お手伝いをしていただける方はご連絡ください。

都市部の方でもOKです。いろいろな協力をお願いします。

みんなでいっしょに楽しみましょう！！

